

長い文章を読んでえらぼう

小5／少し長い文章を読んで、正しい説明を2つえらびましょう

なまえ _____

ひづけ _____

1 米づくりの一年を よんで、正しい説明を2つえらびましょう。

米づくりは春に始まる。田をたがやし、水を入れ、なえを育ててから田植えをする。夏の間は、水の量を調整し、雑草をとり、害虫や病気に気をつけて世話を続ける。秋になり、いねが黄金色に実ると、いよいよ稲かりだ。こうして一年をかけて育てられた米が、わたしたちの食たくに届く。近年は機械の導入で作業は楽になったが、天候に左右される点は今も変わらない。

1 米づくりは春に田をたがやすことから始まる。

2 米づくりは秋に田植えをする。

3 夏の間は世話をせずに放っておく。

4 米づくりは今も天候に左右される。

5 機械を使うと天候の影響がなくなる。

2 森林と水のかかわりを よんで、正しい説明を2つえらびましょう。

森林の土は、落ち葉や小さな生き物のはたらきで、スポンジのようにすき間の多い状態になっている。雨がふると、この土が水をたっぷりたくわえ、少しずつ川へ流し出す。そのため、森林が豊かな地域では、大雨のときも川があふれにくく、日照りが続いても川の水がかれにくい。森林は自然のダムとよばれるゆえんである。

1 森林の土は水をたくわえて少しずつ流し出す。

2 森林の土は水をまったくたくわえない。

3 森林があると大雨で川があふれやすい。

4 森林は日照りのとき川の水がかれにくくする。

5 森林と川の水は関係がない。

長い文章を読んでえらぼう

小5／少し長い文章を読んで、正しい説明を2つえらびましょう

なまえ _____

ひづけ _____

1 太陽の光を電気にを よんで、正しい説明を2つえらびましょう。

太陽光発電は、太陽の光を太陽電池に当てて電気をつくるしくみである。燃料をもやさないため、二酸化炭素をほとんど出さず、環境にやさしい。ただし、夜や天気の良い日には発電できないという弱点もある。そのため、他の発電方法と組み合わせて使う工夫が進められている。

- 1 太陽光発電は光から電気をつくる。
- 2 太陽光発電は燃料を大量にもやす。
- 3 太陽光発電は二酸化炭素をほとんど出さない。
- 4 太陽光発電は夜でも同じように発電できる。
- 5 太陽光発電には弱点がまったくない。

2 わたり鳥の旅を よんで、正しい説明を2つえらびましょう。

つばめやはくちょうのようなわたり鳥は、季節に合わせて数千キロもの距離を移動する。えさが豊富な地域で子育てをし、寒くなるとあたたかい地域へ移る。長い旅の間、太陽や星の位置、地形などを手がかりに方角を知るといわれている。同じ個体が毎年ほぼ同じ経路をたどることも確かめられている。

- 1 わたり鳥は季節に合わせて長い距離を移動する。
- 2 わたり鳥は一年中同じ場所にとどまる。
- 3 わたり鳥は方角を手がかりなしで知る。
- 4 わたり鳥は毎年ほぼ同じ経路をたどることがある。
- 5 わたり鳥は移動せずに冬をこす。

長い文章を読んでえらぼう

小5／少し長い文章を読んで、正しい説明を2つえらびましょう

なまえ

ひづけ

1 火山のめぐみと災害を よんで、正しい説明を2つえらびましょう。

火山がふん火すると、よう岩や火山灰によって大きな災害が起きることがある。一方で、火山の周りには温泉がわき、火山灰がつもった土地は作物がよく育つこともある。また、地下の熱を利用した発電も行われている。火山は、災害をもたらす一方で、人々にめぐみもあたえているのである。

- 1 火山は災害をもたらすことがある。
- 2 火山は人々にめぐみを一切あたえない。
- 3 火山の周りには温泉がわくことがある。
- 4 火山灰がつもった土地では作物が育たない。
- 5 火山の熱は利用できない。

2 川がつくる地形を よんで、正しい説明を2つえらびましょう。

川は、上流では急な流れで岩をけずり、深い谷をつくる。中流では、けずった土や石を運びながら流れる。流れがゆるやかになる下流では、運んできた土や砂を積もらせ、広い平地をつくる。長い年月をかけて、川は少しずつ大地の形を変えていくのである。

- 1 川は上流で谷をつくり、下流で平地をつくる。
- 2 川は上流で土を積もらせる。
- 3 川は大地の形を変えない。
- 4 川は長い年月をかけて地形を変えていく。
- 5 下流では川が岩を深くけずる。